

保護者と一緒に読みましょう。

令和6年11月5日

合志市立西合志南中学校

文責：宮本・岡野

ほけんだより No.6

命(心・体)について考える教育講演会がありました。

命(心・体)について考える教育講演会を、1年生：10月30日、2年生：10月24日に実施しました。今回はその様子をお伝えします。



1年生は、熊本市中央区のフォーシーズンレディースクリニックの院長、産婦人科医の田畑愛先生に来ていただきました。

熊本県は2017年、妊娠中絶率が全国ワースト1、その後も熊本はワースト5位前後を推移しています。産婦人科医として中絶手術をした後、誰一人明るい姿で帰って行くことがなく、「中絶手術はできるけど、したくない」という思いを持たれました。10代の子どもたちが心も体も大切に、健康に過ごせるように伝えることが重要だと感じ、本校にも講演に来ていただきました。女性の体の仕組み、妊娠、性的同意についてなど話されました。

2年生は、熊本県被害者センター「ゆあさいどくまもと」より波口先生と上塚先生に来ていただきました。

4人に1人が性暴力を受けたことがあること、勇気を出して信頼できる大人に話して欲しいこと、相談相手に選ぶのは友達が多いこと、友達から打ち明けられたら「話してくれてありがとう。大丈夫だった?」と話を傾聴することなど話されました。また、SNSを介しての動画や写真、拡散されると一生消えることのないデジタルタトゥーとなりうることも教えていただきました。性暴力にあうと眠れなくなったり、中には自分を傷つけてしまったり、とても苦しむことが分かり、性加害をしないことが一番重要であることを伝えられました。



～生徒の感想より～

自分や相手の体や心を守るために、きちんと正しい知識を身につけ、大切にしていこうと思いました。私は、性行為で病気になるかもしれないということを初めて知りました。自分のこれからの夢や人生のためにも、子宮頸がんワクチンを打つなどの対策をしようと思いました。中高生の間は絶対性行為をしないようにしようと思いました。

私は、生理痛がひどいけど、薬が苦手です。全然飲まないから、鎮痛剤は依存性もないとわかったので、ひどいときは、飲んでみようかなと思いました。

1年・女子

人と人の境界線があり、それを超えるときはお互いの同意がないといけないことが分かりました。相手を不快に思わせるような言動、行動はしないようにします。男子だから性暴力にはあわないとつい考えてしまいがちですが、性暴力は年齢・性別関係ないと聞いて、僕も気をつけなくちゃいけないと思いました。

そして、もし、何かあったら、一人で抱え込まず、信頼できる人に相談をしようと思いました。自分の体は自分でしか守ることができないため、日頃から嫌なことは嫌と断れるように伝えることも身につけておくことが大切だと感じました。

また、友達から相談を受けたら、「大変だったのに話をしてくれてありがとう」と伝えます。

2年・男子